

第 6 回

ルートの基本計算

講師
 湯浅 弘一

1 素因数分解

素数とは 1 とその数自身以外に約数を持たない数です。

簡単にいえば、約数が 2 個の数です。

小さい順に 2, 3, 5, 7, 11, 13, 17, 19, 23, …

この素数を用いて、ある整数を素数だけの積に表すことを**素因数分解**といいます。

例題

100 を素因数分解しなさい。

【解説】

すだれ算を使います。

100 を割り切れる小さい素数で順に割っていきましょう。

その結果をすだれのように書いていきます。最後は 1 まで書くことでミスを防げます。

$$\begin{array}{r}
 2 \overline{) 100} \\
 2 \overline{) 50} \\
 5 \overline{) 25} \\
 5 \overline{) 5} \\
 1
 \end{array}$$

この結果から、2 で 2 回、5 で 2 回割ることができたので、100 を素因数分解すると

$$100 = 2 \times 2 \times 5 \times 5$$

となることがわかります。

練習問題 1

840を素因数分解しなさい。

【答え】

すだれ算を行います。

$$\begin{array}{r} 2 \overline{) 840} \\ 2 \overline{) 420} \\ 2 \overline{) 210} \\ 3 \overline{) 105} \\ 5 \overline{) 35} \\ 7 \overline{) 7} \\ 1 \end{array}$$

したがって、

$$840 = 2 \times 2 \times 2 \times 3 \times 5 \times 7$$

と素因数分解できます。

2 $\sqrt{k^2 a} = k\sqrt{a} \quad (k > 0, a > 0)$

平方根の公式の中には、

$$\sqrt{k^2 a} = k\sqrt{a} \quad (k > 0, a > 0)$$

があります。

なぜこうなるのかを簡単に説明すると、こうなります。

$$a > 0, b > 0 \text{ のとき } \sqrt{a} \times \sqrt{b} = \sqrt{ab} \text{ でした。}$$

この左辺と右辺を入れ替えて

$$\sqrt{ab} = \sqrt{a} \times \sqrt{b} \text{ を使うと...}$$

$$\sqrt{k^2 a} = \sqrt{k \times k \times a} = \sqrt{k} \times \sqrt{k} \times \sqrt{a} = k\sqrt{a} \text{ が成り立ちます。}$$

$$(\sqrt{k} \times \sqrt{k} = k \text{ でしたね!})$$

例題

次の数を $k\sqrt{a}$ の形で表しなさい。 ($k > 0, a > 0$)

- (1) $\sqrt{20}$ (2) $\sqrt{200}$

【解説】

(1) 20 を素因数分解すると $2 \times 2 \times 5$ となるので、
 $\sqrt{20} = \sqrt{2 \times 2 \times 5} = \sqrt{2} \times \sqrt{2} \times \sqrt{5} = 2\sqrt{5}$
 と表すことができます。

(2) 200 を素因数分解すると、

$$\begin{array}{r} 2 \overline{) 200} \\ 2 \overline{) 100} \\ 2 \overline{) 50} \\ 5 \overline{) 25} \\ 5 \overline{) 5} \\ 1 \end{array}$$

したがって、

$$\begin{aligned} \sqrt{200} &= \sqrt{2 \times 2 \times 2 \times 5 \times 5} \\ &= \sqrt{2} \times \sqrt{2} \times \sqrt{2} \times \sqrt{5} \times \sqrt{5} \\ &= 2 \times \sqrt{2} \times 5 \\ &= 10\sqrt{2} \end{aligned}$$

練習問題2

次の数を $k\sqrt{a}$ の形で表しなさい。 ($k > 0, a > 0$)

- (1) $\sqrt{18}$ (2) $\sqrt{180}$

【答え】

- (1) $\sqrt{18} = \sqrt{2 \times 3 \times 3} = \sqrt{2} \times \sqrt{3} \times \sqrt{3} = 3\sqrt{2}$
 (2) $\sqrt{180} = \sqrt{2 \times 2 \times 3 \times 3 \times 5} = 2 \times 3 \times \sqrt{5} = 6\sqrt{5}$

3 $\sqrt{\quad}$ の加法

次の計算法にしがいます。

k, l を実数, $a > 0, b > 0, c > 0$ とするとき,

$$\star k\sqrt{a} + l\sqrt{a} = (k + l)\sqrt{a} \cdots \textcircled{1}$$

$$\star k\sqrt{a} - l\sqrt{a} = (k - l)\sqrt{a} \cdots \textcircled{2}$$

\sqrt{b} を $k\sqrt{a}$ に変形できないときには $\sqrt{a} + \sqrt{b}$ をまとめることはできません。

ざっくばらんにいうと…

文字式の計算と同じです。

ルートの中の数が同じときを文字式の同類項とみなします。

例えば,

$$a + 3a = 4a$$

となりましたね。

ここで $a = \sqrt{2}$ とすると,

$$\sqrt{2} + 3\sqrt{2} = 4\sqrt{2}$$

と求めることができます。

ですから,

$\sqrt{2} + \sqrt{18}$ を求めるときには,

まず, $\sqrt{18} = \sqrt{2 \times 3 \times 3} = \sqrt{2} \times \sqrt{3} \times \sqrt{3} = 3\sqrt{2}$ と変形してから計算しましょう。

したがって,

$$\sqrt{2} + \sqrt{18} = \sqrt{2} + 3\sqrt{2} = 4\sqrt{2}$$

となります。

4 $\sqrt{\quad}$ の加減の融合

次の例題を考えてみましょう。

例題

$\sqrt{3} + \sqrt{6} - \sqrt{12} + \sqrt{24}$ を計算をなさい。

【解説】

最初に $\sqrt{12}$ と $\sqrt{24}$ を次のように変形しましょう。

$$\sqrt{12} = \sqrt{2 \times 2 \times 3} = \sqrt{2} \times \sqrt{2} \times \sqrt{3} = 2\sqrt{3}$$

$$\sqrt{24} = \sqrt{2 \times 2 \times 2 \times 3} = \sqrt{2} \times \sqrt{2} \times \sqrt{2} \times \sqrt{3} = 2\sqrt{6}$$

したがって、

$$(\text{与式}) = \sqrt{3} + \sqrt{6} - 2\sqrt{3} + 2\sqrt{6}$$

と書くことができます。

ここで、文字式の同類項の計算と同じように考えます。

項に区切るとわかりやすくなります。

$$(\text{与式}) = \sqrt{3} \dot{+} \sqrt{6} \dot{-} 2\sqrt{3} \dot{+} 2\sqrt{6}$$

$$= \sqrt{3} \dot{-} 2\sqrt{3} \dot{+} \sqrt{6} \dot{+} 2\sqrt{6}$$

ここで、 $\sqrt{3} = a$ 、 $\sqrt{6} = b$ と考えると

$$(\text{与式}) = a - 2a + b + 2b = -a + 3b = -\sqrt{3} + 3\sqrt{6}$$

と求められます。

練習問題4

$2\sqrt{12} + \sqrt{27} - 7\sqrt{3}$ を計算をなさい。

【答え】

$\sqrt{12} = 2\sqrt{3}$ 、 $\sqrt{27} = 3\sqrt{3}$ と変形できるので、

$$2\sqrt{12} + \sqrt{27} - 7\sqrt{3} = 2 \times 2\sqrt{3} + 3\sqrt{3} - 7\sqrt{3}$$

$$= 4\sqrt{3} + 3\sqrt{3} - 7\sqrt{3}$$

$$= 0$$

